

第5回 (一社) 電力需給調整力取引所 運営委員会 議事録

1. 日 時：2025年 2月 3日 (月) 15:00～16:00

2. 場 所：オンライン開催

3. 委員一覧 (出席者)：

	氏 名	所 属
	阿部 一人	四国電力送配電 (株) 企画部 副部長 兼 技術計画グループリーダー
	稲森 悦郎	九州電力送配電 (株) 系統技術本部 運用計画グループ 課長
	太田 泰俊	北陸電力送配電 (株) 電力流通部 広域運用チーム 統括課長
	岡田 怜	東京電力パワーグリッド (株) 系統運用部 広域給電グループマネージャー
	小柳津 政勝	東北電力ネットワーク (株) 電力システム部 (給電) 課長
	鹿野 祐介	関西電力 (株) エネルギー需給本部 電力取引グループ チーフマネージャー
	川口 公一	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 会長理事
	川崎 斉司	大阪ガス (株) 電力事業部 電力事業推進部 市場取引チーム マネージャー
	工藤 芳揮	旭化成 (株) 環境ソリューション事業本部 エネルギー総部 エネルギー戦略推進部 エネルギーセンターグループ グループ長
	新谷 宏治	北海道電力ネットワーク (株) 工務部 広域システムグループリーダー
◎	菅原 健一	中部電力パワーグリッド (株) 系統運用部 給電計画グループ グループ長
	杉原 健一	(株) J E R A 販売統括部 需給改革推進部 市場制度ユニット ユニット長
○	高間 康弘	関西電力送配電 (株) 系統運用部 給電制度グループ チーフマネージャー
	鳴瀧 匡彦	東京ガス (株) 電力事業部 電力トレーディンググループマネージャー
	西本 英彦	中国電力ネットワーク (株) 企画部 市場整備グループ マネージャー
	平尾 宏明	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 副会長理事

※五十音順、敬称略、◎は委員長、○は副委員長



4. 議 題：

- (1) 需給調整市場システム 市場ルール見直し（2026年度対応）に係る機能増強の進捗状況について
- (2) HP上の公表情報の充実に向けた取り組みについて
- (3) 需給調整市場に関する解説資料（案）について
- (4) 2025年度売買手数料単価の決定および公表について

5. 議事内容：

(1) 需給調整市場システム 市場ルール見直し（2026 年度対応）に係る機能増強の進捗状況について

事務局より市場ルール見直し（2026 年度対応）に係る需給調整市場システム（以下、「MMS」）の機能増強の進捗状況について、以下の情報共有があった。

【システム開発の進捗状況】

- ・ 2026 年度の制度変更に対応するため、MMS 機能増強の設計・製作を実施。
- ・ 運開時期（2026 年 3 月）に間に合わせるため、設計フェーズは 2024 年 8 月に着手済み。
- ・ MMS ハードウェアリプレースも同じく 2024 年 8 月に設計フェーズ開始。
- ・ 製作フェーズは、設計フェーズで作業内容を精査した後に発注することとしており、設計フェーズは 2025 年 2 月に完了予定であり、現在は製作フェーズの発注を実施する段階。
- ・ 製作フェーズの開始時期は 2025 年 3 月を予定。

【開発費用規模および年度毎の費用影響について】

- ・ システム開発費用は合計 114 億円の見込み。
 - 開発ベンダへの設計・製作およびハードウェアリプレース委託費用：113 億円
 - 開発ベンダ以外の支払費用：1 億円
- ・ 開発費用は減価償却され、2026 年度以降、5 年間で年額 5 分の 1 ずつ現行のシステム関連費用に加算。
- ・ その結果、開発費用は 2026 年度以降の売買手数料単価に反映される。
- ・ 2026 年度の市場運営費全体のうち、2026 年度向け改修の減価償却費が約 4 割を占める見込み。
- ・ システム関連費用としては市場運営費全体の約 9 割を占める見込み。

鳴瀧委員：資料の内容については承知したが、今後に向けてお願いさせていただきたい。今後も制度動向が変化したり、機能増強の必要性が起こることで、システム改修が発生するものと思料。それには相当なコストが必要になると認識しているため、例えば、システム構築の際に将来的な拡張性が生まれるような形での設計を行うとか、将来に亘ってもコストが大きくなりすぎないように工夫していただけると幸い。

もう一点、2025 年度向けのシステム切替にあたっては、事業者側の API 仕様の開示や、説明会の開催、一定の裕度期間を設けていただくなど、事業者へ配慮いただいていると認識。2026 年度対応についても、事業者側のシステム改修が必要になるかもしれないので、事業者に寄り添った形でご対応をお願いしたい。

菅原委員長：事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：今後のコスト低減に向けては引き続き検討していく。また、説明会等の対応についても、事業者に寄り添う形で対応を心がけていく。



EPRX

一般社団法人電力需給調整力取引所
Electric Power Reserve eXchange

菅原委員長：事務局においては本日の委員からのご意見も踏まえながら、引き続き 2026 年度対応
をお願いします。

(2) HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて

事務局より HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて以下の説明があり、委員の意見を確認した。

- ・ 今後も更なる公表情報の充実を推進するため、取引実績の追加項目や HP への追加掲載情報等について委員に対し意見募集を実施。
- ・ 第 4 回運営委員会において、意見集約結果および対応方針案をフィードバックしたところ。
- ・ 今回、対応方針案に対する実現可否について検討したことから結果をご提示。

<公表する取引実績の追加項目：電源種別>

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全国計で公表 ✓ 電源種別：火力、水力、揚水、蓄電池、VPP <p>※電源特定の可能性については継続確認</p> <p>なお、水力、VPP については、それぞれリソース数が僅少であることから、公表方法について（公表しない選択肢も含めて）検討</p>
検討結果	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当初方針案のとおり、入札行動が特定されないよう、全国計で公表する。 ✓ 電源種別については、火力、水力・揚水、蓄電池、VPP（一纏め） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水力は特定エリアに偏在しており、リソースも僅少なため、水力・揚水で纏める。 ➢ VPP もリソースが僅少であり、「発電」「発電+需要」「需要」別に公表する場合は特定される恐れがあることから一纏めにして公表する。

<公表する取引実績の追加項目：複合商品>

対応方針	商品の組み合わせの入札・約定実績の追加
検討結果	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各商品の組み合わせ毎の入札・約定実績については、公表項目が大幅に増加。 ✓ 第 4 回運営委員会後、委員から代替案の提示があり、事務局において検討。 <p>【代替案】</p> <p>一次調整力を含む複合約定、二次調整力①を含む複合約定、一次調整力と二次調整力①を含む複合約定の 3 つを公表する（複合商品における一次調整力オフラインリソースの落札状況の把握するため）</p> <p>【検討結果】</p> <p>一次調整力オフラインの取引情報は公表していることから、代替案は見送る。今後、一次調整力オフラインリソースの参加状況に応じて検討する。</p>

<公表する取引実績の追加項目：グラフ表示機能>

対応方針	✓ 表示項目 1, 2 で異なる商品区分の選択できる機能の追加
検討結果	✓ 利用者のニーズに応じた柔軟な分析に資することから、当該機能を追加する。



EPRX

一般社団法人電力需給調整取引所
Electric Power Reserve eXchange

- 川口委員 : VPP の表示については、前回の運営委員会で意見を提示させていただき、事務局において意向を汲んでいただき感謝申し上げます。また、複合約定実績については個別で調整させていただき、現在もリソースは僅少ということで理解したが、今後特に蓄電池が増えていく中で複合約定も増えていくと思料。引き続き相談させていただきたい。
- 事務局 : 複合約定実績については、今後の取引状況の変化を踏まえ、引き続き検討していく。
- 川崎委員 : 取引実績の公表項目の追加は、市場参加者にとって非常に有益であるので、検討に感謝する。
2026 年度から市場ルールが見直しになる予定だが、商品区分としては現状から変更はないため、商品区分は同じ形で公表されるという理解で問題ないか。
また、2026 年度以降は、現在の週間商品も 30 分コマ単位での取引になるため、公表データ数が非常に増えると思料。今回の追加項目に係る仕様にも予め織り込むなど、システム改修コストが全体的に抑えられるよう検討をお願いできれば幸い。
- 事務局 : 2026 年度以降も商品区分は変わらないため、現在と同様の内容で公表するというご理解で問題ない。
また、週間商品の 30 分ブロック化に伴いデータの粒度は細くなる。2026 年度対応を見据え、HP 公表に向けて効率的に進めていきたい。
- 菅原委員長 : 事務局の対応方針に対し、特段の異論はなかったと認識。事務局においては本日の委員からのご意見も踏まえながら、HP 公表に向けて対応を進めていただきたい。



EPRX

一般社団法人電力需給調整力取引所
Electric Power Reserve eXchange

(3) 需給調整市場に関する解説資料（案）について

事務局より、需給調整市場に関する解説資料（案）について以下の説明があり、委員の意見を確認した。委員に対しては、別途意見募集を実施する予定。

- ・ EPRX ではホームページの公表情報の充実に取り組んでおり、HP への追加情報掲載について検討を進めているところ。
- ・ HP への追加情報掲載として「需給調整市場の解説資料」の案を作成した。

<コンセプト>

これから需給調整市場に参入を検討される事業者の方が、そもそも「調整力とは何か」「需給調整市場とは何か」を理解することに資する資料とする。

<さらなる HP 掲載資料の充実について>

引き続き運営委員会でのご意見を踏まえつつ、来年度以降も HP 掲載資料の充実を図ることとする。

菅原委員長：この場で委員から特段の意見がなくても、会議後に事務局へ意見をお寄せいただきたい。



EPRX

一般社団法人電力需給調整取引所
Electric Power Reserve eXchange

(4) 2025 年度売買手数料単価の決定および公表について

事務局より、2025 年度の売買手数料単価の決定および公表について、以下の情報共有があった。

- ・ 2025 年度売買手数料単価の決定に向けては、約定量が低水準で推移する一方、費用の大幅増加が見込まれるため、引き上げの見通しを早期に公表し、意見募集を実施 (2024.11.18~11.29)。
- ・ 基本的な考え方に対する反対意見なし。
- ・ 2025 年 1 月にシステム説明会 (1.17) および需給調整市場検討小委 (1.24) を通じて、現取引会員以外にも広く周知。
- ・ 第 98 回制度検討作業部会 (2024.12.24) にて、0.03 円/ Δ kW \cdot 30 分の手数料水準の見通しが必要なものとして了承いただいた。
- ・ 最新の想定値を基に改めて算定した結果、見直し通り 0.03 円/ Δ kW \cdot 30 分となった。
- ・ 理事会決議を経て、2025 年度売買手数料単価を 0.03 円/ Δ kW \cdot 30 分に決定し、理事会終了後すみやかにホームページ上で公表(2025 年 2 月 7 日予定)したい。

川崎委員 : 以前の運営委員会において、上限価格の見直しについても議論があり、見直されるという結論になった認識。売買手数料の決定・公表については特段意見ないが、上限価格についてはいつ頃公表される予定か。

事務局 : 上限価格そのものをどうしてゆくかの方向性については国の審議会等において議論される認識だが、現状は議論がされていない状況。そのため、上限価格の算定上は手数料単価の変更という要素を全く加味せずに決定されることはないであろう、ということまでしか申し上げかねる。

川崎委員 : 状況は理解した。

菅原委員長 : 事務局においては、単価の決定・公表に向けて理事会への付議をお願いする。

菅原委員長 : 以上をもって、本日の議事を終了する。

以 上